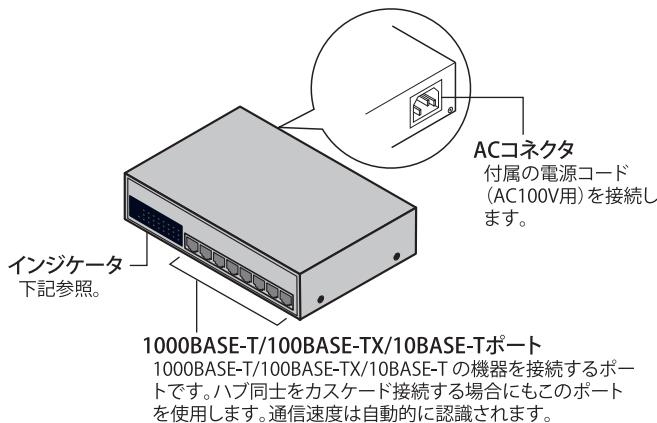
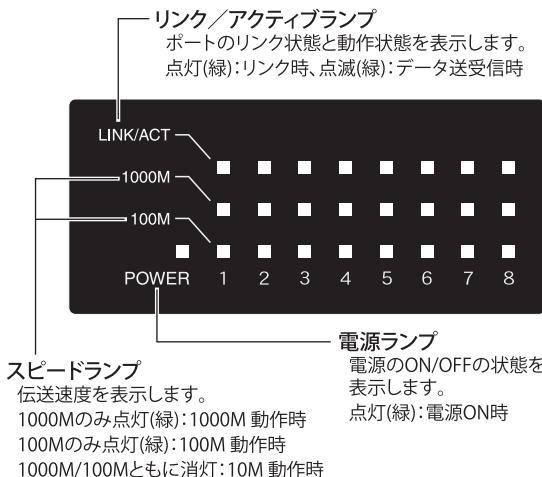
BUFFALO

BS-G2008UR
ハードウェアマニュアル

パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

●スイッチングハブ（本体）…………………………… 1台

インジケータ詳細

●L-Type電源コード(3P)……………………………… 1本
●3P-2P変換コネクタ（アース線付）…………………… 1個
●ゴム足……………………………………………1式(4個)
●シリアルナンバーシール（2枚1組）…………………… 1式
●19インチラック取付金具（ねじ付（6個））……………… 2個
●ハードウェアマニュアル(本書)………………………… 1枚
●安全にお使いいただくために必ずお守りください……… 1枚

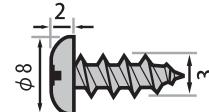
※保証書は、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。修理の際は、必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

設置

■設置上の注意

- ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所には設置しないでください。
- 本製品の上に、本製品や発熱する物を載せないでください。
- ケーブル類は足などが引っかからないように配線してください。
- 他の機器や壁などで、本製品の通風口をふさがないでください。
- 電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください。他の製品の電源コードは仕様が異なるため、本製品の故障や火災の原因となるおそれがあります。

■壁に取り付ける場合

壁への取り付けは、下図のようなネジを使います。壁にネジを固定して、本製品底面の取り付け穴を引っ掛けてください。

■床やスチール製デスクの側面などに設置する場合

床に設置する場合は、本製品底面の四隅に、付属のゴム足を貼り付けて設置してください。
また、別売のマグネットキット「BS-MGK-A」をご使用いただくと、スチール製デスクの側面など金属部分に貼り付けられます。マグネットの取り付け方法は、「BS-MGK-A」に添付のマニュアルを参照してください。

注意

別売のマグネットキットにはフロッピーディスクや磁気カードなどの磁気記憶媒体を近づけないでください。データが消失・破損することがあります。

■19インチラックに設置する場合

本製品付属の19インチラック取付金具を使用してください。

製品仕様・その他

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

■基本仕様

項目	仕様
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T)、 IEEE802.3u (100BASE-TX)、 IEEE802.3ab (1000BASE-T)
ポート数	8ports
適合ケーブル（※1）（※2）	10BASE-T：カテゴリ 3 以上 4 対 UTP ケーブル、 100BASE-TX：カテゴリ 5 以上 4 対 UTP ケーブル、 1000BASE-T：エンハンストカテゴリ 5 以上の UTP ケーブル
コネクタ形状	RJ-45 型 8 極コネクタ
電源	AC100V±10%　50/60Hz
消費電力（最大）	8.5W
消費電流（最大）	0.1A
外形寸法	W190×D125×H43mm
本体重量	860g（本体のみ）
動作環境	温度：0 ～ 45℃、湿度：10 ～ 85%（無結露）
取得規格	VCCI ClassB

※1 本製品は、ケーブルの種類（ストレートケーブル/クロスケーブル）を、自動的に判別しますので、どちらのケーブルでも問題無く使用できます。
※2 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。

裏面につづく

■機能仕様

伝送速度	10Mbps (10BASE-T)、 100Mbps (100BASE-TX)、 1000Mbps (1000BASE-T)
スイッチングデータ転送方式	Store & Forward
ジャンボフレーム	最大 9,728Bytes (ヘッダ 14Bytes + FCS 4Bytes 含む)
伝送路符号化方式	Manchester-coding (10BASE-T)、 4B5B/MLT-3 (100BASE-TX)、 4D-PAM5 (1000BASE-T)
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度 （スループット）	14,881 パケット / 秒 (10BASE-T)、 148,810 パケット / 秒 (100BASE-TX)、 1,488,095 パケット / 秒 (1000BASE-T)
アドレステーブル	4,000 (セルフラーニング)
バッファ容量	128KBytes
エージング時間	約 300 秒
フローコントロール	IEEE802.3x (Flow Control / 全二重動作時)、 バックプレッシャー (半二重動作時)
伝送距離（最大）	100m

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる

・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる

・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

■ネットワークに接続できないとき

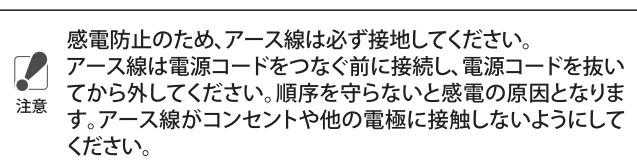
次のことを確認してください。

- 本製品に電源コードが接続されているか。また、電源コードがコンセントに接続されているか。
- UTP ケーブルは正しく接続されているか。また、ケーブルは断線などしていないか。
- リンク／アクティブランプ※は点灯しているか。
  ※リンク／アクティブランプが点灯しないときは、接続したハブや LAN アダプタの通信モードを手動で 100M 半二重または 10M 半二重に設定してください。

■ACコンセントが2極のとき

付属の3P-2P変換コネクタを使って、ACコンセントに接続します。

注意

感電防止のため、アース線は必ず接地してください。アース線は電源コードをつなぐ前に接続し、電源コードを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

・製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
・BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。

株式会社 バッファロー
BS-G2008UR ハードウェアマニュアル
初版発行 2007/7/31
PY00-33088-DM10-01　C10-012